

平成26年度 一般選抜中期日程／経済学科・公共マネジメント学科 外国語
出題の意図と解答の傾向

I

問 1

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
6	8	3	9	1	4	10	2	7	5

問 2

【解答例】

このことの問題は若い日本人がアカデミック以外のスキルや才能を持っていたとしても、試験に落ちると彼らの自負心が傷つくことである。

【採点講評】

この問題に関してはおおむね正確に訳していた受験者がほとんどであった。そのなかで目立ったのが academic の訳に苦慮し、academic の訳をしていない解答、academic の訳を学力と訳した解答が目立った。また、少数だが even though に関して訳ができないのか、「スキルと才能を持っている。…自負心が傷つく」というように訳している答案等が散見された。

さらに、「アカデミック以外のスキルや才能をもっていたとしても」という正解に対し、「他人よりもスキルや才能を持っていたとしても」、あるいは、「他国の者よりも、スキルや才能を持っていたとしても」というような解答が目についた。

問 3

【解答例】

これは学校を退学する学生や何をすべきかわからない大学生の出現を引き起こす。

【採点講評】

この問題に関しては either or の構文のつながりが読めていない学生が多かった。たとえば「ドロップアウトしたり、何をすべきかわからない大学生」というような解答が比較的多くみうけられた。

次に解答に苦労していたのは causes the appearance の訳だった。「これにより…大学生があらわれることになる」というような訳も多かった。「…出現を引き起こす」というように、appearance まで丁寧に訳している解答者は少数であった。「…学生や…大学生を引き起こす…」という解答をなす者が目立った。

問 4

【解答例】

そして彼らが大学に通う時、彼らは（授業に）ついていけるために必要なものをすべては持っていない。

【採点講評】

この問題の正答率は低かった。文脈に即して、よく意味が取れている答案は多くはなかった。「…彼らは（授業に）ついていけるために…」と訳せている解答者は、半数以下であった。また、「keep up」を「…保持するために…」、とか、「…維持するために…」などと訳する解答者が目立った。

さらに、日本語として意味が通らないような訳もあった。冷静に考えるとよくわかる

はずなのに、気づいていないようだ。たとえば、「彼らは大学に出席するとき、保持できるあらゆる必要なものを持っていない」というような答案が多数であった。模範解答の通りの解答をした受験者は数名であった。

問5

【解答例】

日本の学生は文章を文法的に分析し、アメリカの学生は会話を含む「コミュニケーションのためのアプローチ」を用いる。

【採点講評】

日本とアメリカの外国語についての教え方の違いが、明確に示されていることや、「本文に即して」記されているかどうか注目した。筆者の主張が明瞭であることから、解答として、本文に沿って記すことに大きな困難がなかったものと見られ、多くの受験者が、高い得点をあげていた。

もっとも、「本文に即した」解答でなかったり、質問の意図を理解していない答案も散見された。また、analyze sentences grammatically「文章を文法的に分析し」ときちんと解答しているものが少なく、「文法を分析して」というのが目立った。communicative approach も「伝達、コミュニケーションによるアプローチ」と訳せたものは少なく、「コミュニケーションによる接触」などが多かった。

問6

【解答例】

アメリカ合衆国の高校はしばしば新しい試み（実験）と親や先生のような権威ある人たちに反抗する時期である。

【採点講評】

短い文章であることから、単語の意味を含め、正確に訳されているかどうか注目した。読解が困難な構文ではないことから、多くの学生が高い得点をあげていた。

もっとも、多くの受験者に共通して誤解されていた単語があったことや、本文を正確に訳すのではなく、「自らの常識」に沿って内容を判断していた答案が散見されたことも、特筆し得るところである。

訳の全体の大枠「高校は～～の時代だ」というのがしっかりと掴めていない。experiment を experience 「体験」と勘違いしたもの、authority を author 「著者」と間違えて訳しているものも目立った。

問7

【解答例】

しかし彼らが学校で教えない（または怖くて教えられない）ことを学ぶために、13～18歳のみんなが学校からインターネット・アカウントを与えられるべきだ。

【採点講評】

問6同様、短い文章であり、正確に訳されているかどうか注目した。構文としては、読解が困難なものではないことから、多くの学生が高い得点をあげていた。

もっとも、下線部を訳すよう求めているにもかかわらず、（ ）内を無視して、全く触れていない答案が散見された。

また、(or are afraid to teach you) 「こわくて教えられない」が意外と訳せていない。what they don't teach you 「教えない何か」と訳したものが目立った。

II

問1 (各15点)

1.

【採点講評】

the role of nuclear power を誤って the nuclear power of role のように書いて、「A の B」が B of A に当たることが分かっていない解答が目立った。The unfortunate event in Japan in 2011 have led many Japanese people to think about the role of nuclear power. といった無生物主語の言い方より、Many Japanese people came to think about the role of nuclear power because of the unfortunate event in Japan in 2011. といった人を表す主語の文で書いてある解答が多かった。どちらの表現でも文意が伝わる範囲で得点を与えた。ただし、nuclear power には unclear power や new clear power といった書き間違いが少なくなかった。

2.

【問題】

イングランド北西部にあるコールダーホール原子炉は商業ベースでエネルギーを生み出す世界で最初の原子力発電所だった。

【解答例】

The Calder Hall reactor in the northwest of England was the first nuclear power station in the world to produce energy on a commercial scale.

【採点講評】

【注】として、The Calder Hall reactor / on a commercial scale / (the) nuclear power station の3つを与えた問題であり、受験者が考えるべき日本語の箇所は「イングランド北西部にある」「エネルギーを生み出す」そして「世界で最初の」に過ぎなかった。にもかかわらず、多くの初歩的な間違いが見受けられた。

単語レベルでは、

(1) in the northwest of England の中で north を nows / nouth / nors などとしているもの、west を east と書いたり、north を south とするものもあったが、一番目に付いたのは England が書けない受験者が余りにも多かったことである。その中で多かったのは Ingrand / Ingrand であった。

(2) to produce energy では generate / create / make も正解とはしたが、energy のスペルを間違える受験者も多かった。構文レベルでは (実はこちらの方が重要ではあるのだが) (the) first power station which produce energy on a commercial scale in the world としているものの、「時制」「人称」などの基本的な知識を欠いている答案が多かった。

問2 (30点)

【採点基準】

この問題を通じて受験者は意見や理由を明確に述べられるかどうか、限られた時間内にアイデアを十分に展開させられるかどうか、段落を論理的に構成できるかどうか、また受験者の英語が十分に通じるかどうかを見たいと考えた。「内容」、「構成」、「言語力」を中心に、30点満点で解答を総合的に採点した。

「内容」については、意見や理由、詳細を十分に説明し、論理的に展開させているかを中心に評価した。「構成」については、解答は導入文・本文・結論で構成されているかどうか、“discourse markers” (first, second, one reason is, in conclusion など)や接続詞が正確に尚且つ効果的に使われているかどうかを中心に評価した。「言語力」については、解答を読んで意味が理解できるかどうか、文法・語彙・綴り・句読点が正確に適切に使

われているかどうか、受験者は難しい言い回しや語彙を使おうとしているかどうかどのくらい正確に使えたかなどを中心に評価を行った。

【解答例】

There is no doubt that the gap year system is very attractive for high school graduates. However, I do not agree with it for the following reasons. Firstly, if students do not study for one year they might forget what they learned at high school. This will make it difficult for them to study new topics when they start studying at university. Secondly, students might not want to return to their studies after becoming used to being free and independent. But if they do not go to university they may have trouble finding a good job. For these reasons, I disagree with the gap year system.

【採点講評】

The majority of candidates could answer the question, with a number of well-written, logical responses giving clear reasons supporting the stated position. However, many responses showed the same kinds of errors that we see year after year.

1) One common problem was with **the use of personal pronouns**, with errors like:

- × “they can get a chance to develop my understanding...”
- “they can get a chance to develop their understanding...”

2) There were many problems with people not using **verb + preposition + object** correctly:

- × “I agree it” / “I am agree it”
- “I agree with it”
- × “I disagree to the idea”
- “I disagree with the idea”
- × “We can learn foreign countries”
- “We can learn about foreign countries”

3) **Discourse markers** were often used incorrectly:

- × “We need lots of money to enter university. This is because we need to work”
- “We need lots of money to enter university. Therefore we need to work”

Confusing “The reason that...” and “the reason is that...” was quite common, too. Be sure you are clear on the difference between these kinds of expressions.

4) **Incorrect word usage** was another big problem. For example, many people wrote “*experiment*” when they should have used “*experience*”:

- × “We can experiment many things by travelling overseas”
- “We can experience many things by travelling overseas”

Another common problem was the use of “to trip” as a verb, which has a considerably different meaning from “to travel”:

- × “We can learn a lot by tripping”
- “We can learn a lot by travelling”